

第14表 業種・性・類型別家内労働者1人平均工賃月収額

(円)

業 種	合 計	男 性	女 性	専 業	内 職	副 業
合 計	50,223 ( 50,428)	140,786 (162,323)	43,214 ( 42,135)	168,329 (195,194)	42,156 ( 41,638)	32,952 ( 47,348)
食 料 品	33,218 ( 31,656)	64,214 ( 46,670)	32,248 ( 31,089)	70,710 ( 60,611)	32,171 ( 30,774)	27,747 ( 45,055)
織 維 工 業	74,228 ( 90,517)	178,873 (254,161)	50,474 ( 50,436)	182,707 (263,823)	51,654 ( 49,883)	71,314 ( 39,561)
衣服・その他の繊維製品	53,648 ( 51,526)	161,588 (163,707)	49,209 ( 46,949)	140,519 (148,108)	46,505 ( 46,693)	28,415 ( 67,079)
木材・木製品、家具・装備品	35,498 ( 38,337)	68,599 ( 83,673)	31,311 ( 32,839)	145,413 (162,682)	32,343 ( 33,192)	16,764 ( 45,127)
紙 ・ 紙 加 工 品	29,799 ( 31,801)	56,663 ( 52,990)	29,041 ( 31,194)	77,996 ( 88,262)	29,242 ( 30,986)	30,240 ( 57,252)
印 刷 ・ 同 関 連	63,699 ( 55,566)	89,435 ( 90,266)	62,743 ( 54,284)	285,910 (236,482)	54,762 ( 50,294)	34,051 ( 18,573)
コ ン 製 品	40,981 ( 41,998)	77,295 ( 75,090)	38,114 ( 39,449)	174,325 (120,333)	37,471 ( 38,598)	52,303 ( 21,149)
皮 革 製 品	102,619 (103,667)	198,849 (212,174)	44,948 ( 51,006)	220,107 (228,702)	47,828 ( 49,729)	101,842 ( 66,667)
窯 業 ・ 土 石 製 品	52,590 ( 52,399)	184,212 (163,314)	35,845 ( 40,940)	190,928 (201,992)	36,005 ( 41,845)	25,756 ( 53,895)
金 属 製 品	98,218 ( 80,878)	220,357 (183,843)	49,704 ( 45,914)	264,460 (222,048)	51,730 ( 46,980)	54,463 ( 35,109)
電 気 機 械 器 具	40,654 ( 37,012)	58,606 ( 55,009)	39,794 ( 36,197)	115,761 (110,099)	40,338 ( 35,206)	25,226 ( 40,066)
機 械 器 具 等	51,518 ( 55,965)	129,461 (149,480)	42,661 ( 45,724)	217,481 (241,386)	41,789 ( 46,299)	39,957 ( 47,408)
そ の 他 ( 雑 貨 等 )	35,785 ( 38,854)	82,716 (111,363)	32,382 ( 34,002)	124,818 (171,230)	32,764 ( 34,289)	29,245 ( 30,683)

( ) 内は前回(平成10年度)調査結果

## (2) 1時間当たりの工賃額

平成12年9月分の家内労働者の1時間当たりの工賃額をみると、「200～400円未満」が最も多く35.8%、次いで「400～600円未満」が23.8%、「600～800円未満」が12.4%、「100～200円未満」が11.4%となっており、800円未満で85.8%を占めている。

男性では「200～400円未満」が19.7%と最も多く、次いで「400～600円未満」が18.3%、「600～800円未満」が11.7%となっており、200円から1,200円を中心に分布している。また、「2,000円以上」も6.0%いる。女性は、「200～400円未満」が37.1%で最も多く、次いで「400～600円未満」が24.2%と、200円～600円に約6割が集中している。また、「100～200円未満」も11.7%いる。

専業では200円～1,000円を中心に分布している。(第15表)。

第15表 1時間当たりの工賃額階級、性・類型別家内労働者数の割合

(%)

区 分	合 計	男 性	女 性	専 業	内 職	副 業
合 計	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
100円 未 満	2.4( 2.4)	1.3( 2.0)	2.5( 2.4)	2.4( 0.4)	2.4( 2.5)	0.8( -)
100~200円 未 満	11.4( 10.7)	7.6( 5.5)	11.7( 11.1)	4.1( 5.2)	12.0( 11.2)	9.0( 3.0)
200~400円 未 満	35.8( 33.3)	19.7( 18.6)	37.1( 34.4)	12.7( 19.4)	37.7( 34.2)	28.9( 29.1)
400~600円 未 満	23.8( 24.8)	18.3( 16.0)	24.2( 25.4)	26.4( 15.4)	23.8( 25.6)	15.5( 12.5)
600~800円 未 満	12.4( 14.1)	11.7( 13.6)	12.5( 14.1)	10.4( 13.0)	12.4( 13.9)	19.4( 33.4)
800~1,000円 未 満	5.2( 6.1)	10.1( 12.3)	4.8( 5.6)	11.5( 12.7)	4.8( 5.8)	2.5( 3.1)
1,000~1,200円 未 満	2.6( 2.7)	10.2( 9.4)	2.0( 2.2)	9.8( 9.9)	2.0( 2.3)	4.9( 1.6)
1,200~1,400円 未 満	2.0( 1.7)	5.9( 6.1)	1.7( 1.4)	8.0( 6.7)	1.6( 1.4)	1.0( 2.8)
1,400~1,600円 未 満	0.9( 0.9)	4.1( 5.1)	0.7( 0.6)	4.0( 5.1)	0.7( 0.6)	0.9( 2.1)
1,600~1,800円 未 満	0.7( 0.8)	3.9( 3.0)	0.4( 0.7)	4.1( 3.3)	0.4( 0.7)	1.0( 0.4)
1,800~2,000円 未 満	0.1( 0.4)	0.5( 1.6)	0.1( 0.3)	0.4( 1.7)	0.1( 0.1)	0.2( 11.0)
2,000円 以 上	1.2( 1.1)	6.0( 6.3)	0.8( 0.7)	6.1( 7.2)	0.6( 0.8)	7.7( 0.7)
不 明	1.6( 1.0)	0.8( 0.5)	1.6( 1.1)	0.1( 0.3)	1.5( 1.1)	8.2( 0.5)

( ) 内は前回(平成10年度)調査結果

第16表 業種、性・類型別家内労働者1人1時間当たりの平均工賃額

(%)

区 分	合 計	男 性	女 性	専 業	内 職	副 業
合 計	498( 512)	823( 877)	473( 485)	859( 915)	466( 484)	767( 724)
食 料 品	445( 448)	623( 461)	439( 448)	535(1,345)	440( 427)	559( 525)
織 維 工 業	557( 617)	903(1,055)	477( 510)	930(1,018)	480( 525)	463( 522)
衣服・その他の繊維製品	484( 502)	843( 896)	469( 486)	702( 756)	450( 482)	1,468(1,044)
木材・木製品、家具・装飾品	419( 459)	605( 719)	396( 428)	823( 909)	404( 434)	473( 812)
紙 ・ 紙 加 工 品	383( 427)	641( 690)	376( 419)	734( 628)	377( 423)	456( 799)
印 刷 ・ 同 関 連	856( 801)	787( 850)	858( 800)	1,867(1,546)	816( 772)	622( 962)
メ ー ン 製 品	488( 513)	739( 661)	468( 501)	1,040( 723)	471( 505)	664( 302)
皮 革 製 品	649( 638)	909( 905)	496( 508)	960( 950)	501( 499)	802( 687)
窯 業 ・ 土 石 製 品	533( 524)	1,117(1,066)	459( 468)	1,005(1,127)	468( 479)	893( 865)
金 属 製 品	737( 779)	1,257(1,230)	530( 626)	1,449(1,348)	539( 630)	459(1,301)
電 気 機 械 器 具	501( 463)	576( 489)	497( 462)	516( 611)	500( 459)	543( 533)
機 械 器 具 等	521( 583)	823(1,007)	486( 537)	1,067(1,257)	481( 545)	958( 714)
そ の 他 ( 雑 貨 等 )	410( 455)	643( 762)	394( 434)	746( 913)	395( 439)	483( 400)

( ) 内は前回(平成10年度)調査結果

家内労働者1人1時間当たりの平均工賃額は498円で、男性は823円、女性は473円であり、類型別には、専業は859円、内職は466円、副業は767円となっている。

業種別にみると、「印刷・同関連」が856円と最も高く、次いで、「金属製品」が737円、「皮革製品」が649円となっている。これを男女別にみると、男性では「金属製品」が1,257円と最も高く、次いで「窯業・土石製品」が1,117円、「皮革製品」が909円となっている。一方、「電気機械器具」は576円となっており、業種による差が大きい。女性は「印刷・同関連」が858円で最も高く、その他の業種は主に、400~500円台に分布している。さらに類型別にみると、専業は、「印刷・同関連」が1,867円、「金属製品」が1,449円となっている他は、500~1,000円台に分布している。内職では、「印刷・同関連」

が816円の他は、女性同様主に400～500円台に分布している。副業では、「衣服・その他の繊維製品」が1,468円と最も高いが、最も低い「紙・紙加工品」の456円まで、業種によりばらつきがみられる（第16表）。

### (3) 必要経費

平成12年9月の家内労働の仕事に要した必要経費をみると、「必要経費あり」の者は全体の19.0%であった。これら「必要経費あり」の者の「平均必要経費額」は、1万0,091円である。男女別にみると、男性では「必要経費あり」の者が51.6%、「平均必要経費」が2万6,500円、女性は「必要経費あり」の者は16.5%、「平均必要経費額」は6,136円となっており、男性と女性とでは必要経費の有無及び金額に大きな違いがみられる。（第17表）。

第17表 必要経費の有無、性別家内労働者数の割合及び必要経費額

(%、円)			
区 分	合 計	男 性	女 性
合 計	100.0	100.0	100.0
必要経費あり	19.0(100.0)	51.6(100.0)	16.5(100.0)
(補助材料費	( 59.3)	( 67.7)	( 57.2)
* (工作具費	( 20.3)	( 28.7)	( 18.2)
(その他	( 39.9)	( 46.1)	( 38.4)
必要経費なし	81.0	48.4	83.5
平均必要経費額	10,091	26,500	6,136

注) 1 平均必要経費額は、必要経費ありの者の平均である。

注) 2 \*は重複回答である。

### (4) 工賃の支払

#### イ 工賃の支払場所

家内労働者に対する工賃の支払場所についてみると、「自宅」が40.3%と最も多く、次いで「金融機関（口座振込）」が38.8%、「委託者の営業所等」が16.7%となっている。男性は「金融機関（口座振込）」が55.8%と過半数を占め、次いで「自宅」が24.3%、「委託者の営業所等」が15.7%となっており、女性は「自宅」が41.6%、次いで「金融機関（口座振込）」が37.5%となっている（第18表）。

第18表 工賃の支払場所、性別家内労働者数の割合

(%)			
区 分	合 計	男 性	女 性
合 計	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
自 宅	40.3( 37.7)	24.3( 26.7)	41.6( 38.5)
グループリーダー等の家	1.6( 2.6)	0.4( 0.8)	1.7( 2.7)
委託者の営業所等	16.7( 15.4)	15.7( 15.1)	16.8( 15.4)
金融機関(口座振込)	38.8( 40.6)	55.8( 55.6)	37.5( 39.4)
そ の 他	2.5( 3.8)	3.8( 1.7)	2.4( 3.9)

注) ( ) 内は前回(平成10年度)調査結果

ロ 工賃の支払方法

家内労働者の工賃の支払方法をみると、「1か月に1回支払われている」が97.5%と大半である(第19表)。

第19表 工賃の支払方法、性別家内労働者数の割合

(%)

区 分	合 計	男 性	女 性
合 計	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
納品の都度支払われている	1.1( 1.1)	1.0( 1.7)	1.1( 1.0)
1か月に1回支払われている	97.5( 97.3)	97.4( 95.9)	97.5( 97.4)
1か月に2回支払われている	0.3( 0.3)	0.9( 0.6)	0.3( 0.3)
そ の 他	1.1( 1.3)	0.7( 1.8)	1.1( 1.2)

注) ( ) 内は前回(平成10年度)調査結果

4 受託関係

(1) 原材料・加工品の受渡し場所

家内労働者が原材料や加工品の受渡しをしている場所についてみると、「自宅」が69.5%と約7割を占め、次いで「委託者の営業所等」が25.9%となっている(第20表)。

第20表 原材料・加工品の受渡し場所、性別家内労働者数の割合

(%)

区 分	合 計	男 性	女 性
合 計	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
自 宅	69.5( 69.8)	67.7( 69.2)	69.7( 69.8)
グループリーダー等の家	3.0( 3.3)	0.8( 0.7)	3.1( 3.4)
委託者の営業所等	25.9( 24.8)	28.5( 26.6)	25.8( 24.6)
そ の 他	1.6( 2.2)	3.0( 3.5)	1.5( 2.1)

注) ( ) 内は前回(平成10年度)調査結果

(2) 委託契約の方法

家内労働者が委託契約をどのような方法で行っているかをみると、「家内労働手帳」が77.1%(うち「手帳式」21.4%、「伝票式」78.6%)と最も多く、次いで「ノート類」が13.4%となっている。「口約束」も9.3%ある。(第21表)。

第21表 委託契約方法、性別家内労働者数の割合

(%)

区 分	合 計	男 性	女 性
合 計	100.0	100.0	100.0
家内労働手帳	77.1(100.0)	69.0(100.0)	77.8(100.0)
手帳式	( 21.4)	( 11.9)	( 22.0)
伝票式	( 78.6)	( 88.1)	( 78.0)
ノ ー ト 類	13.4	14.7	13.3
口 約 束	9.3	16.0	8.8
不 明	0.1	0.4	0.1

## 5 安全衛生等

### (1) 機械・原材料の使用状況

災害発生等のおそれのある機械・原材料を使用している者の割合は15.6%である。男性では45.0%、女性では13.4%となっている。

使用している機械・原材料の種類をみると、「接着剤・払拭剤・表面加工剤・絶縁用ワニス・塗料等有機溶剤を含むもの」が37.2%と最も多く、次いで「織機・ニット編機・撚糸機・合糸機」が35.2%、「絵の具・糊薬・はんだ等鉛化合物を含むもの」が14.4%となっている。男性では「織機・ニット編機・撚糸機・合糸機」が41.4%と最も多く、次いで「接着剤・払拭剤・表面加工剤・絶縁用ワニス・塗料等有機溶剤を含むもの」が29.6%となっている。女性では「接着剤・払拭剤・表面加工剤・絶縁用ワニス・塗料等有機溶剤を含むもの」が39.1%と最も多く、「織機・ニット編機・撚糸機・合糸機」が33.6%となっている（第22表）。

業種別に機械・原材料を使用している割合をみると、「皮革製品（主に接着剤・払拭剤等）」が48.7%と最も高く、次いで「繊維工業」が40.1%（主に織機・ニット編機・撚糸機・合糸機等）、「金属製品」が35.0%（主要機械・原材料は研削盤・バフ盤・旋盤・フライス盤・ボール盤等）となっている（第23表）。

第22表 機械・原材料の使用の有無及び種類、性別家内労働者の割合

		(%)		
使用の有無及び種類	合計	男性	女性	
合計	100.0	100.0	100.0	
機械・原材料を使用している(M.A.)	15.6(100.0)	45.0(100.0)	13.4(100.0)	
プレス・シャー（3の型付け機等を除く）、研削盤・バフ盤、旋盤・フライス盤・ボール盤	( 13.5)	( 23.3)	( 11.0)	
木工用丸のこ盤・手押しかな盤・面取り盤	( 1.0)	( 1.5)	( 0.9)	
型付け機・型打ち機(皮、ゴム、紙の加工用に限る)	( 8.1)	( 10.5)	( 7.4)	
織機・ニット編機・撚糸機・合糸機	( 35.2)	( 41.4)	( 33.6)	
接着剤・払拭剤・表面加工剤・絶縁用ワニス・塗料等有機溶剤を含むもの	( 37.2)	( 29.6)	( 39.1)	
絵の具・糊薬・はんだ等鉛化合物を含むもの	( 14.4)	( 6.5)	( 16.5)	
発火性・酸化性・引火性の物質又は可燃性のガス	( 8.7)	( 12.7)	( 7.7)	
不明	( 0.9)	( —)	( 1.2)	
機械・原材料を使用していない	84.3	54.9	86.5	
不明	0.1	0.1	0.1	

第23表 業種、性別、機械・原材料を使用している家内労働者数の割合

業 種	合 計		
	合 計	男 性	女 性
合 計	15.6(17.7)	45.0(49.8)	13.4(15.3)
食 料 品	1.2( 1.1)	2.9( 6.5)	1.2( 0.9)
織 維 工 業	40.1(42.0)	80.7(86.4)	30.9(31.2)
衣服・その他の繊維製品	8.6( 7.2)	16.7(16.7)	8.3( 6.8)
木材・木製品、家具・装備品	18.8(19.9)	27.9(42.5)	17.6(17.1)
紙 ・ 紙 加 工 品	15.7(16.3)	24.4(14.6)	15.5(16.4)
印 刷 ・ 同 関 連	3.5(61.6)	25.0(36.7)	2.7(62.5)
ゴ ム 製 品	18.2(14.2)	22.5(22.1)	17.8(13.6)
皮 革 製 品	48.7(40.5)	79.1(89.2)	30.7(16.8)
窯 業 ・ 土 石 製 品	18.2(18.3)	63.5(53.7)	12.3(14.6)
金 属 製 品	35.0(31.9)	74.5(65.3)	19.1(20.7)
電 気 機 械 器 具	12.6(19.5)	13.7(19.6)	12.5(19.5)
機 械 器 具 等	21.4(22.6)	42.6(52.3)	19.0(19.3)
そ の 他 ( 雑 貨 等 )	18.1(16.8)	31.3(46.3)	17.1(14.9)

注) ( ) 内は前回(平成10年度)調査結果

(2) 危害防止措置状況

機械・原材料を使用している家内労働者のうち、危害を防止するための措置を講じている者の割合は40.3%である。男性では59.9%、女性では35.2%となっており、女性の割合が低い。

危害防止措置を講じるようになった理由は、「仕事の性質上そうした方がいいと思ったから」が69.6%で最も多く、次いで「委託者から指導や注意を受けて」が44.3%となっている。男性では「仕事の性質上そうした方がいいと思ったから」が72.6%が最も多く、女性では「仕事の性質上そうした方がいいと思ったから」が68.2%、「委託者から指導や注意を受けて」が52.5%となっている(第24表)。

使用している機械・原材料別に危害防止措置を講じている者の割合をみると、「プレス・シャー」を使用している者が56.8%ともっと高く、次いで「絵の具・糊薬・はんだ等鉛化合物を含むもの」が51.2%、「木工用丸のこ盤・手押しかな盤・面取り盤」が41.9%、「型付け機・型打ち機」が38.9%となっている(第25表)。

第24表 危害防止措置状況・理由、性別家内労働者数の割合

危 害 防 止 措 置 状 況	合 計		
	合 計	男 性	女 性
合 計	100.0	100.0	100.0
講 じ て い る ( M . A . )	40.3(100.0)	59.9(100.0)	35.2(100.0)
委託者から指導や注意を受けて	( 44.3)	( 25.4)	( 52.5)
労働基準監督署からの指導を受け、あるいはパンフレット等を読んで	( 6.0)	( 16.6)	( 1.3)
仕事の性質上そうした方がいいと思ったから	( 69.6)	( 72.6)	( 68.2)
そ の 他	( 1.9)	( 4.0)	( 1.0)
不 明	( - )	( - )	( - )
講 じ て い な い	58.8	40.1	63.6
不 明	0.9	-	1.1

注) 機械・原材料を使用している家内労働者のみ。

第25表 使用機械・原材料、性別危害防止措置実施家内労働者数の割合

使用機械・物質	（％）		
	合計	男性	女性
合計	40.3(38.0)	59.9(52.4)	35.2(34.5)
プレス・シヤ－	56.8(52.2)	74.8(63.5)	46.8(50.3)
木工用丸のこ盤・手押しかな盤・面取り盤	41.9(40.7)	72.5(88.8)	27.5( 6.6)
型付け機・型打ち機	38.9(35.3)	62.4(67.5)	30.3(24.7)
研削盤・バフ盤	－ (66.3)	－ (77.8)	－ (58.4)
旋盤・フライス盤・ボール盤	－ (60.6)	－ (67.2)	－ (55.3)
織機・ニット編機・撚糸機・合糸機	37.6(35.1)	43.5(41.0)	35.6(33.0)
巻線機・溶接機	－ (42.2)	－ (57.6)	－ (41.1)
ワ－プロ	－ (14.4)	－ (49.2)	－ (12.5)
接着剤・払拭剤・表面加工剤・絶縁用ワニス・塗料等有機溶剤を含むもの	34.3(38.5)	65.4(64.2)	28.2(32.2)
絵の具・糊漿・はんだ等鉛化合物を含むもの	51.2(42.2)	80.1(56.5)	48.2(40.5)
発火性・酸化性・引火性の物質又は可燃性のガス	31.5(56.1)	67.5(52.2)	16.1(57.9)

注) 1 機械・原材料を使用している家内労働者のみ。

注) 2 ( ) 内は前回(平成10年度)調査結果。

### (3) 健康診断の受診状況

過去1年間に健康診断を受診した家内労働者の割合は、61.9%である。男性は69.3%、女性は61.3%で、男性の方がやや高い(第26表)。

業種別に受診した者の割合をみると、「皮革製品」が69.5%が最も高く、「その他(雑貨等)」の49.8%を除く、その他の業種では概ね5～7割となっている(第27表)。

受診した健康診断の種類についてみると、「特殊健康診断」(有機溶剤・鉛等)はわずか1.5%で、「その他の健康診断」が97.3%と大半を占めている。

健康診断受診者について健康診断の受診に関し委託者の指導の有無をみると、委託者の指導等が「あり」は10.1%で、「なし」が89.7%と大半を占め、受診者の大半は自主的に健康診断を受診しているといえる。

さらに受診しなかった者の受診しなかった理由をみると、「受診の必要性を感じていない」が55.2%で最も高い。

第26表 健康診断受診の有無、性別家内労働者数の割合

危害防止措置状況	(%)		
	合計	男性	女性
合計	100.0	100.0	100.0
受診した(M.A.)	61.9(100.0)	69.3(100.0)	61.3(100.0)
特殊健康診断	( 1.5)	( 3.9)	( 1.3)
その他の健康診断	( 97.3)	( 96.3)	( 97.4)
委託者の指導あり	( 10.1)	( 12.1)	( 9.9)
委託者の指導なし	( 89.7)	( 87.6)	( 89.8)
受診していない(M.A.)	38.0(100.0)	30.7(100.0)	38.6(100.0)
忙しくて受診する時間がない	( 20.5)	( 17.4)	( 20.7)
受診にお金がかかる	( 11.7)	( 9.2)	( 11.9)
受診の必要性を感じていない	( 55.2)	( 52.8)	( 55.4)
受診のしかたが分からない	( 2.9)	( 0.8)	( 3.0)
その他	( 21.9)	( 27.1)	( 21.6)
委託者の指導等あり	( 1.9)	( 4.7)	( 1.8)
委託者の指導等なし	( 97.4)	( 94.8)	( 97.6)
不明	0.0	—	0.0

第27表 業種、性別健康診断受診を受診した家内労働者数の割合

業 種	(%)		
	合計	男性	女性
合計	61.9(63.1)	69.3(69.1)	61.3(62.7)
食料品	58.6(70.6)	54.3(58.1)	58.8(71.1)
繊維工業	63.7(67.7)	68.8(61.0)	62.5(69.4)
衣服・その他の繊維製品	67.8(69.7)	59.3(75.6)	68.1(69.5)
木材・木製品、家具・装備品	54.6(54.4)	75.0(70.0)	52.0(52.5)
紙・紙加工品	61.5(58.7)	58.1(75.7)	61.6(58.2)
印刷・同関連	53.0(44.9)	80.0(70.0)	52.0(44.0)
ゴム製品	51.3(52.5)	59.2(70.1)	50.7(51.2)
皮革製品	69.5(68.0)	70.9(67.6)	68.7(68.2)
窯業・土石製品	57.0(62.1)	73.1(74.1)	54.9(60.8)
金属製品	67.3(67.7)	83.3(80.0)	60.8(63.6)
電気機械器具	61.0(53.0)	72.6(67.7)	60.5(52.3)
機械器具等	62.9(66.7)	70.6(71.6)	62.0(66.2)
その他(雑貨等)	49.8(61.7)	75.4(68.8)	47.9(61.3)

注) ( ) 内は前回(平成10年度)調査結果。

(4) 負傷・疾病の状況

過去2年間に家内労働の作業を原因とするけが(負傷)をしたり、病気(疾病)にかかったことがある者の割合は0.8%であった。このうち、「けがをしたことがある」は58.0%、「病気にかかったことがある」は42.0%である(第28表)。

また、機械・物質の使用の有無別に「負傷・疾病の経験あり」の割合をみると、使用していない者では0.6%、使用している者では2.1%と、使用している場合の方がわずかに高くなっている。



第28表 負傷・疾病の有無、性、有害な機械・原材料の使用の有無別家内労働者数の割合

区 分	合 計	男 性	女 性	(%)	
				機械・原材料 の使用あり	機械・原材料 の使用なし
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
負傷・疾病の経験あり(M. A.)	0.8(100.0)	1.9(100.0)	0.7(100.0)	2.1(100.0)	0.6(100.0)
① けがをした	( 58.0)	( 52.9)	( 59.0)	( 60.3)	( 56.3)
② (①に該当する人の中で) けがで4日以上休業	( 14.0)	( 55.0)	( 6.8)	( 19.4)	( 10.1)
③ 病気にかかった	( 42.0)	( 47.1)	( 41.0)	( 39.7)	( 43.7)
④ (③に該当する人の中で) 病気で4日以上休業	( 11.3)	( 20.9)	( 9.1)	( 17.9)	( 7.1)
負傷・疾病の経験なし	98.7	97.9	98.8	98.7	99.1
不 明	0.4	0.2	0.5	0.4	0.3

## 6 家内労働者の就業意識等

### (1) 家内労働に従事する理由

家内労働者が働いている理由をみると、「家計の補助のため」が59.3%と最も多く、次いで「余暇時間を活用するため」37.9%、「自分の自由になるお金を得るため」35.1%となっている。男性では「生計を維持するため」が63.0%と最も多く、次いで「家計の補助のため」が32.3%となっている。女性では「家計の補助のため」が61.4%と最も多く、次いで「余暇時間を活用するため」39.6%、「自分の自由になるお金を得るため」36.6%となっている。また、類型別にみると、専業では「生計を維持するため」が93.9%と最も多く、次いで「技能や経験を生かすため」が20.0%となっている。内職では「家計の補助のため」が62.5%と最も多く、次いで「余暇時間を活用するため」40.8%、「自分の自由になるお金を得るため」37.9%となっている。副業では「家計の補助のため」が66.7%、「生計を維持するため」43.3%となっている（第29表）。

第29表 性別・類型別家内労働に従事する理由別家内労働者数の割合（M. A. 2つまで）

区 分	合 計	男 性	女 性	(%)		
				専 業	内 職	副 業
合 計	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
生計を維持するため	21.1( 18.7)	63.0( 64.7)	17.9( 15.3)	93.9( 93.0)	15.4( 13.8)	43.3( 45.6)
家計の補助のため	59.3( 57.7)	32.3( 23.8)	61.4( 60.2)	12.2( 12.9)	62.5( 60.8)	66.7( 32.8)
自分の自由になるお金を 得るため	35.1( 31.8)	15.7( 11.3)	36.6( 33.4)	2.5( 4.4)	37.9( 33.9)	14.7( 9.9)
技能や経験をいかすため	6.3( 6.3)	10.8( 8.8)	6.0( 6.1)	20.0( 17.6)	5.2( 5.2)	12.4( 32.3)
生きがいのため	12.7( 10.5)	16.2( 13.7)	12.5( 10.3)	11.4( 7.9)	12.8( 10.8)	13.8( 3.5)
余暇時間を活用するため	37.9( 34.8)	16.4( 16.0)	39.6( 36.2)	3.5( 2.0)	40.8( 36.8)	21.9( 34.3)
そ の 他	0.4( 1.0)	0.4( 1.0)	0.3( 1.0)	0.2( -)	0.4( 1.0)	0.1( 5.0)

注) ( ) 内は前回（平成10年度）調査結果

(2) 家内労働を選んだ理由

家内労働者が家内労働を選んだ理由をみると、「都合のいい時期・時間に働けるから」が64.1%と最も多く、次いで「家事・育児等のため外に出て働けないから」が26.6%、「外に出て働きたいが適当な就職口がないから」22.2%となっている。男性では、「都合のいい時期・時間に働けるから」41.5%で最も多く、次いで「外に出て働きたいが適当な就職口がないから」が26.2%、「体力的に外に出て働けないから」が20.6%で続いている。女性では「都合のいい時期・時間に働けるから」が65.8%、「家事・育児等のため外に出て働けないから」28.5%、「簡単な仕事だから」22.1%となっている。また、類型別にみると、専業では「都合のいい時期・時間に働けるから」が36.1%と最も多く、次いで「外に出て働きたいが適当な就職口がないから」が30.2%となっている。内職では「都合のいい時期・時間に働けるから」が66.0%と最も多く、次いで「家事・育児等のため外に出て働けないから」が27.8%となっている。副業では「都合のいい時期・時間に働けるから」が68.6%、次いで「簡単な仕事だから」が32.6%となっている（第30表）。

第30表 性別・類型別家内労働を選んだ理由別家内労働者数の割合（M. A. 2つまで）

(%)

区 分	合 計	男 性	女 性	専 業	内 職	副 業
合 計	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
外に出て働きたいが適当な就職口がないから	22.2( 19.2)	26.2( 25.1)	21.9( 18.8)	30.2( 28.1)	21.9( 18.9)	11.4( 9.2)
体力的に外に出て働けないから	12.8( 12.7)	20.6( 19.5)	12.2( 12.2)	12.9( 20.0)	13.1( 12.4)	2.4( 4.6)
家事・育児等のため外に出て働けないから	26.6( 27.4)	2.3( 2.7)	28.5( 29.2)	13.7( 8.2)	27.8( 28.9)	13.1( 4.6)
都合のいい時期・時間に働けるから	64.1( 61.5)	41.5( 30.8)	65.8( 63.7)	36.1( 34.6)	66.0( 63.8)	68.6( 54.2)
技能や趣味を生かした仕事をしたいから	11.2( 11.0)	16.0( 15.1)	10.8( 10.7)	28.1( 21.3)	9.9( 10.1)	13.3( 29.0)
簡単な仕事だから	21.9( 18.1)	20.1( 17.3)	22.1( 18.2)	4.1( 5.8)	23.0( 18.7)	32.6( 26.1)
友人・知人がやっているから	5.4( 3.5)	6.8( 3.6)	5.3( 3.5)	4.7( 3.0)	5.5( 3.6)	2.4( 1.5)
その他	2.3( 3.5)	13.5( 21.7)	1.4( 2.2)	15.8( 22.3)	1.4( 2.2)	1.6( 12.9)

注) ( ) 内は前回（平成10年度）調査結果

(3) 家内労働以外の仕事及び家内労働を始める直前の仕事

現在の家内労働以外の仕事の有無をみると、家内労働以外の仕事は「していない」が83.3%と大半を占めている。これら「していない」者について、現在の家内労働を始める直前の仕事の状況をみると、「仕事は何もしていなかった」が46.0%と最も多く、次いで「正社員だった」が16.7%、「パート」が15.7%、「他の家内労働をしていた」が10.3%となっている。

男性では、「正社員だった」が40.1%、次いで「仕事は何もしていなかった」が20.1%、「自営業」が13.8%となっている（第31表）。

第31表 家内労働以外の仕事の有無・家内労働を始める直前の状況別家内労働者数の割合

(%)

家内労働以外の仕事の有無・ 家内労働を始める直前の仕事	合 計	男 性	女 性
合 計	100.0	100.0	100.0
家内労働以外の仕事をしていない	83.3(100.0)	83.8(100.0)	83.3(100.0)
何も仕事はしていなかった	( 46.0)	( 20.1)	( 48.0)
他の家内労働をしていた	( 10.3)	( 7.9)	( 10.5)
正社員だった	( 16.7)	( 40.1)	( 14.9)
パートタイマー・臨時雇だった	( 15.7)	( 5.4)	( 16.5)
自営業をしていた	( 4.7)	( 13.8)	( 4.0)
その他の	( 6.7)	( 12.7)	( 6.2)
家内労働以外の仕事をしている	16.7	16.2	16.7
不 明	—	—	—

(4) 現在の家内労働を継続する意思の有無

現在の家内労働を継続する意思の有無についてみると、「続けたい」が87.3%、「やめたい」が12.6%であり、男女とも8割以上が継続意思を持ち、「やめたい」は男性で17.1%、女性は12.3%である(第32表)。

第32表 性、家内労働を継続する意思の有無別家内労働者数の割合

(%)

家内労働継続の有無	合 計	男 性	女 性
合 計	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
続 け たい	87.3( 86.9)	82.9( 83.4)	87.7( 87.2)
や め たい	12.6( 13.1)	17.1( 16.4)	12.3( 12.8)
不 明	0.0( 0.0)	—( 0.2)	0.0( —)

注) ( ) 内は前回(平成10年度)調査結果

男性では「困っていることがある」者が67.7%で、女性に比べて高くなっている(第33表)。

「続けたい」家内労働者の、現在の家内労働をする上で困っていることの有無についてみると、「困っていることがある」者が47.1%となっている。「やめたい」家内労働者では「困っていることがある」者は81.8%にのぼっている。

「やめたい」家内労働者では、困っている内容は、最も多いのは「工賃が安い」で71.5%、次いで「仕事があったりなかったりする」が50.8%、「納期に追われる」が21.6%となっている(第34表)。

第33表 家内労働をする上で困っていることの有無・その理由別

家内労働者数の割合 (M. A. 2つまで)

		(%)		
区 分	合 計	男 性	女 性	
合 計	100.0	100.0	100.0	
困っていない	48.4	32.3	49.6	
困っていることがある	51.5(100.0)	67.7(100.0)	50.2(100.0)	
工賃が安い	( 68.0)	( 83.5)	( 66.4)	
仕事があったり、なかったりする	( 56.3)	( 66.5)	( 55.2)	
仕事が単調である	( 2.7)	( 2.5)	( 2.7)	
納期に追われる	( 18.5)	( 10.7)	( 19.3)	
家が汚れる	( 7.9)	( 2.9)	( 8.4)	
仕事をする場所が確保できない	( 3.2)	( 2.0)	( 3.3)	
家族との両立が困難	( 6.1)	( 1.1)	( 6.6)	
そ の 他	( 1.8)	( 0.6)	( 1.9)	
不 明	0.1	—	0.2	

第34表 家内労働の継続意思、家内労働をする上で困っていることの有無

・その理由別家内労働者の割合 (M. A. 2つまで)

		(%)					
区 分	継続したい家内労働者合計	男 性	女 性	やめたい家内労働者合計	男 性	女 性	
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
困っていない	52.7	36.9	53.9	18.2	10.0	19.1	
困っていることがある	47.1(100.0)	63.1(100.0)	45.9(100.0)	81.8(100.0)	90.0(100.0)	80.9(100.0)	
工賃が安い	( 67.2)	( 82.4)	( 65.6)	( 71.5)	( 87.2)	( 69.7)	
仕事があったり、なかったりする	( 57.7)	( 66.7)	( 56.8)	( 50.8)	( 66.1)	( 49.0)	
仕事が単調である	( 2.9)	( 2.5)	( 2.9)	( 1.9)	( 2.3)	( 1.9)	
納期に追われる	( 17.7)	( 11.2)	( 18.3)	( 21.6)	( 9.0)	( 23.2)	
家が汚れる	( 6.7)	( 2.8)	( 7.1)	( 12.7)	( 3.1)	( 13.8)	
仕事をする場所が確保できない	( 3.6)	( 1.1)	( 3.9)	( 1.4)	( 5.0)	( 1.0)	
家事等との両立が困難	( 6.2)	( 1.4)	( 6.7)	( 5.7)	( —)	( 6.4)	
そ の 他	( 1.5)	( 0.8)	( 1.6)	( 3.1)	( 0.1)	( 3.4)	
不 明	0.2	—	0.2	—	—	0.0	

現在の家内労働をやめたいと考えている家内労働者が今後何をしたいかをみると、「パートタイマーになりたい」が41.4%、「今後家内労働を含め、仕事はしたくない」が20.7%、「現在とは違う家内労働」が12.6%となっている。男性では「今後家内労働を含め、仕事はしたくない」が最も高く39.2%、次いで「正社員になりたい」16.2%となっており、「パートタイマーになりたい」は2.6%に過ぎないが、女性では「パートタイマーになりたい」が45.6%いる(第35表)。

第35表 性、今後したいこと別現在の家内労働をやめたい家内労働者数の割合

(%)

区 分	やめたい家内労働者合計	男 性	女 性
合 計	100.0(100.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
現在と違う家内労働をしたい	12.6( 14.4)	10.2( 11.6)	12.8( 14.6)
正社員になりたい	12.3( 14.1)	16.2( 25.1)	11.9( 13.1)
パートタイマーになりたい	41.4( 35.1)	2.6( 6.8)	45.6( 37.8)
自営業をやりたい	1.3( 3.0)	11.3( 9.2)	0.2( 2.4)
今後家内労働を含め、仕事はしたくない	20.7( 19.2)	39.2( 28.8)	18.7( 18.3)
そ の 他	11.8( 14.3)	20.5( 18.5)	10.9( 13.9)

注) ( )内は前回(平成10年度)調査結果